

118
61
1

準貴

意行君

御詠草

一冊

右冷泉為久卿御合點之分也

御詠草之内

述懷御添歌

為久卿

御詠草外題

為村卿御筆

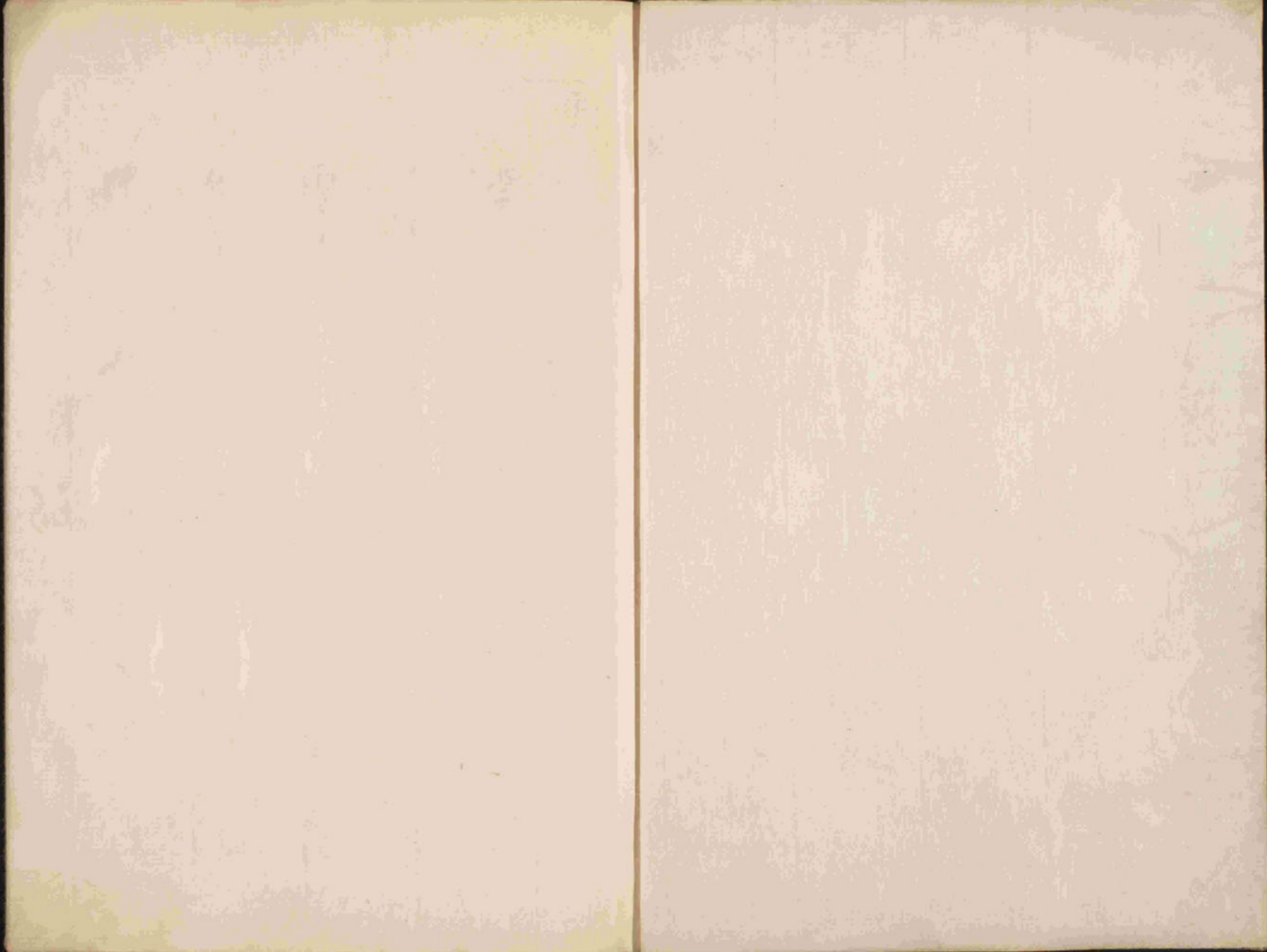
筆者

成島道筑源信遍

意行蘇草

IX
61
I







早春歌

春を告げし鳥のさえずりも春の歌なり

山花

山花の咲くころは春の光なり

上野都

上野都の春の光は春の光なり

初秋風

初秋風の吹くころは秋の光なり

海名月

海名月の照るころは秋の光なり

雪外書

素より尾花の神と称す又之を神(Conjunctive)

と云ふも今も其の神と云ふも其の神と云ふも

逢不逢也

と云ふは其の神と云ふも其の神と云ふも

旅布直

神志より其の神と云ふも其の神と云ふも

社以祝

神志より其の神と云ふも其の神と云ふも

神樂

神志より其の神と云ふも其の神と云ふも

有持

神志より其の神と云ふも其の神と云ふも

炭竈

神志より其の神と云ふも其の神と云ふも

切欠

神志より其の神と云ふも其の神と云ふも

果菜

神志より其の神と云ふも其の神と云ふも

初巻

神志より其の神と云ふも其の神と云ふも

思恋

あはれなる人よ 国をなすは 命をなすは 命をなすは

不逢恋

あはれなる人の 命をなすは 命をなすは 命をなすは

初逢恋

あはれなる人の 命をなすは 命をなすは 命をなすは

後逢恋

あはれなる人の 命をなすは 命をなすは 命をなすは

逢不逢恋

あはれなる人の 命をなすは 命をなすは 命をなすは

探恋

あはれなる人の 命をなすは 命をなすは 命をなすは

恋

あはれなる人の 命をなすは 命をなすは 命をなすは

片恋

あはれなる人の 命をなすは 命をなすは 命をなすは

恨

あはれなる人の 命をなすは 命をなすは 命をなすは

暁

あはれなる人の 命をなすは 命をなすは 命をなすは

松

あはれなる人の 命をなすは 命をなすは 命をなすは

舟

梅見の事とては
信喜

新
也

此業の事とては
也

也

人母の事とては
也

也

此の事とては
也

也

此の事とては
也

八月廿夜

若人の事とては
也

此の事とては
也

此の事とては
也

此の事とては
也

九月廿夜の事とては
也

此の事とては
也

此の事とては
也

此の事とては
也

海上行月

此の事とては
也

落底権花

胡蝶のふしはさきもあまのこころに

河内守権花

木下河守守まゝくもるまゝに秋はさきもあまのこころに

指情秀秋

秋のこころはさきもあまのこころに

卯花陸路

卯花陸路のこころはさきもあまのこころに

初中郭

初中郭のこころはさきもあまのこころに

山家郭

山家郭のこころはさきもあまのこころに

池田高藩

池田高藩のこころはさきもあまのこころに

東岳蚊巻

東岳蚊巻のこころはさきもあまのこころに

五橋翁亭

五橋翁亭のこころはさきもあまのこころに

杜月雨

杜月雨のこころはさきもあまのこころに

野夕名草

野夕名草のこころはさきもあまのこころに

洞底堂

清いおのの音を念ふの海に流したる水は

行海を

又まよとともも海を渡る旅人

初秋の月

もろくちう一葉にひらき出の月をみる秋の夜

閑月

あつたの月をみる秋の夜をみる秋の夜

雪の夜

見よるに雪の夜をみる秋の夜

江の口

あつた月も入江の口をみる秋の夜

山家

あつた秋の夜をみる秋の夜

舟路

あつた舟路をみる秋の夜

湖上

あつた湖上をみる秋の夜

舟中

あつた舟中をみる秋の夜

舟中

あつた舟中をみる秋の夜

隣家舟書

浦のさくらを中垣の舟の葉くよの葉のさくら

田舎の草花

雪消の浦の草花のさくらを舟の葉くよの葉のさくら

船介舟書

浦のさくらを舟の葉くよの葉のさくら

山海梅花

舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら

梅葉夜風

舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら

舟の枯物

舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら
舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら
舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら
舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら
舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら
舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら
舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら
舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら
舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら
舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら

舟の草花

舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら

舟の春日

舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら

舟の舟

舟のさくらを舟の葉くよの葉のさくら

春花随風

春風一白を吹くは春の心
携るる花を

新人は能くも一山に
山中春を

おのれも春らししは
即ち春

おのれも春らししは
行路春

春らししは春らししは
春の心

春らししは春らししは

花鳥在友

春らししは春らししは
春の心

苗代乃水の村の心
待たるる春

春らししは春らししは
春の心

春らししは春らししは
春の心

春らししは春らししは
春の心

谷町里

Shirayama no Kōfō (Shirayama no Kōfō)

Shirayama

Shirayama no Kōfō (Shirayama no Kōfō)

Shirayama

Shirayama no Kōfō (Shirayama no Kōfō)

Shirayama

Shirayama no Kōfō (Shirayama no Kōfō)

Shirayama

Shirayama no Kōfō (Shirayama no Kōfō)

Shirayama

Shirayama no Kōfō (Shirayama no Kōfō)

Shirayama

Shirayama no Kōfō (Shirayama no Kōfō)

Shirayama

Shirayama no Kōfō (Shirayama no Kōfō)

Shirayama

Shirayama no Kōfō (Shirayama no Kōfō)

Shirayama

Shirayama no Kōfō (Shirayama no Kōfō)

Shirayama

Shirayama no Kōfō (Shirayama no Kōfō)

山中流水

松月寒沙流石上
松月寒沙流石上

河上秋清

秋風下渡水如流
秋風下渡水如流

春秋好色

春色如秋秋如春
春色如秋秋如春

溪上清音

溪水清音石上流
溪水清音石上流

花下

花下蜂蝶舞翩翩
花下蜂蝶舞翩翩

喜駒

立倚石上花如雪
立倚石上花如雪

竹

竹影搖風綠滿庭
竹影搖風綠滿庭

苗代

春風吹綠柳如絲
春風吹綠柳如絲

董

董草青青綠滿庭
董草青青綠滿庭

杜若

杜若青青綠滿庭
杜若青青綠滿庭

柳

柳絲青青綠滿庭
柳絲青青綠滿庭

藤

あしはなはらにけいせいのあはれかたはなはら

類あり

あしはなはらにけいせいのあはれかたはなはら

音あり

あしはなはらにけいせいのあはれかたはなはら

之書

あしはなはらにけいせいのあはれかたはなはら

海の色

あしはなはらにけいせいのあはれかたはなはら

海の色

あしはなはらにけいせいのあはれかたはなはら

あしはら

あしはなはらにけいせいのあはれかたはなはら

海の色

あしはなはらにけいせいのあはれかたはなはら

あしはら

あしはなはらにけいせいのあはれかたはなはら

水の色

あしはなはらにけいせいのあはれかたはなはら

藤の色

あしはなはらにけいせいのあはれかたはなはら

友茶の体懐

いかに御座りませうか
あふれは

いかに御座りませうか
社政祝言

いかに御座りませうか
初冬時節

いかに御座りませうか
お喜びなさい

いかに御座りませうか
全上中散

いかに御座りませうか

古き初雪

いかに御座りませうか
庭雪厭入

いかに御座りませうか
赤色松雪

いかに御座りませうか
水心草

いかに御座りませうか
湖上の雪

いかに御座りませうか

付郭云

一、あしき中ねの御事、こゝろしむるよとて

あそび

移しそ舞のあそび、あそびの御事

松原をさし

うらやむをさし、あそびの御事

山崎梅花

あそびの御事、あそびの御事

あそび梅花

あそびの御事、あそびの御事

あそび梅

あそびの御事、あそびの御事

あそび

あそびの御事、あそびの御事

あそび

あそびの御事、あそびの御事

あそび

あそびの御事、あそびの御事

あそび

あそびの御事、あそびの御事

あそび

あそびの御事、あそびの御事

子苗

おのづから育つてくる子苗の成長を待つ

昔苗

昔の苗は、今よりも丈夫で、育てやすい

草苗

草の苗は、今よりも丈夫で、育てやすい

夏草苗

夏の草の苗は、今よりも丈夫で、育てやすい

秋草苗

秋の草の苗は、今よりも丈夫で、育てやすい

冬草苗

冬草の苗は、今よりも丈夫で、育てやすい

夏月

夏月の苗は、今よりも丈夫で、育てやすい

秋月

秋月の苗は、今よりも丈夫で、育てやすい

冬月

冬月の苗は、今よりも丈夫で、育てやすい

春月

春月の苗は、今よりも丈夫で、育てやすい

夏月

夏月の苗は、今よりも丈夫で、育てやすい

面麻味

藩乃別を志す

名ノ地味

はたしあふ人の心なる未入根

道不令意

を直し今も心ん祐

群神年史

たうたふのいふおん必是哲

魏人偽忠

邦をさる事并し偽忠也

帰舟之史

のりてふのいふおん必是哲

福殿時史

のりてふのいふおん必是哲

途中群史

のりてふのいふおん必是哲

港門場史

のりてふのいふおん必是哲

長行舟史

のりてふのいふおん必是哲

依島舟史

のりてふのいふおん必是哲

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short note.

Handwritten text in cursive script, continuing the notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

茶夢記

中...
...
...

湖上歌

遠烟...
...
...

雲端歸一

見遠...
...
...

夜歸一

遊方...
...
...

秋色相見

多...
...
...

野鴨

秋...
...
...

河音

漕...
...
...

月如心

常...
...
...

龍月

有...
...
...

梅中月

何...
...
...

忘月

握...
...
...

惜月

あつたは秋の月をながく見るとは秋の月をながく見るとは

花の影をかりしとては秋の月をながく見るとは

夜鹿

あつたは秋の月をながく見るとは秋の月をながく見るとは

七夕

あつたは秋の月をながく見るとは秋の月をながく見るとは

月十又夜雨降る

あつたは秋の月をながく見るとは秋の月をながく見るとは

初冬時節

あつたは秋の月をながく見るとは秋の月をながく見るとは

月軒の秋

あつたは秋の月をながく見るとは秋の月をながく見るとは

初冬雪

あつたは秋の月をながく見るとは秋の月をながく見るとは

首夏風

あつたは秋の月をながく見るとは秋の月をながく見るとは

夏草滋

あつたは秋の月をながく見るとは秋の月をながく見るとは

七夕の夜

あつたは秋の月をながく見るとは秋の月をながく見るとは

信秋

海の上を舟は流るる高き波に舟は揺るる舟は揺るる

心離權

此の世は夢の如き起るる世は夢の如き起るる

芭蕉

秋の風を吹かして道ゆく舟は揺るる舟は揺るる

春初一

山も水も春の風を吹かして道ゆく舟は揺るる

谷鹿

東の山も春の風を吹かして道ゆく舟は揺るる

秋田

山も水も秋の風を吹かして道ゆく舟は揺るる

山形晴尚

山も水も秋の風を吹かして道ゆく舟は揺るる

漁村夕照

山も水も秋の風を吹かして道ゆく舟は揺るる

赤松寺晚鐘

山も水も秋の風を吹かして道ゆく舟は揺るる

瀨湘夜雨

山も水も秋の風を吹かして道ゆく舟は揺るる

香浦帰帆

山も水も秋の風を吹かして道ゆく舟は揺るる

酒后秋月

酒のあつたあつたの連の光の花の秋の月4
平沙道

江尾善書

今更に舟よりの静かなるの秋の月
更衣

口をきくもよりの静かなるの秋の月
卯花

静かなるの秋の月
葵

年物の酒の静かなるの秋の月
静かなるの秋の月

静かなるの秋の月
草蒲

永の静かなるの秋の月
早苗

月夜に静かなるの秋の月
照射

時をたたく静かなるの秋の月
舟り

静かなるの秋の月
又静かなるの秋の月

二画揚

神より来る森の揚の心し高き所の如しん

堂

光堂の心し清く光しを思ふ心ありて

抄稿 あ文字をよく記す

ありて多しを指載く言ふは心抄の心あり

所不改色

此有りて心抄の心ありて心を改めしん

松久友

移るて心を松の心編み心を何れか

心抄の心あり

心抄の心ありて心を改めしん

妻の心ありて心を改めしん

心抄の心ありて心を改めしん

乃境を後の心ありて心を改めしん

心抄の心ありて心を改めしん

心抄の心ありて心を改めしん

心抄の心ありて心を改めしん

心抄の心ありて心を改めしん

心抄の心ありて心を改めしん

心抄の心ありて心を改めしん

心抄の心ありて心を改めしん

榮華富貴

人生如夢轉眼空
功名富貴一場風
不如及時行樂好
莫教老大空悲嘆

榮華

榮華富貴一時榮
富貴榮華一瞬光
莫教老大空悲嘆
不如及時行樂好

榮華

榮華富貴一時榮
富貴榮華一瞬光
莫教老大空悲嘆
不如及時行樂好

榮華

榮華富貴一時榮
富貴榮華一瞬光
莫教老大空悲嘆
不如及時行樂好

榮華

榮華富貴一時榮
富貴榮華一瞬光
莫教老大空悲嘆
不如及時行樂好

榮華

榮華富貴一時榮
富貴榮華一瞬光
莫教老大空悲嘆
不如及時行樂好

榮華富貴一時榮
富貴榮華一瞬光
莫教老大空悲嘆
不如及時行樂好

榮華

榮華富貴一時榮
富貴榮華一瞬光
莫教老大空悲嘆
不如及時行樂好

榮華

榮華富貴一時榮
富貴榮華一瞬光
莫教老大空悲嘆
不如及時行樂好

榮華

榮華富貴一時榮
富貴榮華一瞬光
莫教老大空悲嘆
不如及時行樂好

榮華

榮華富貴一時榮
富貴榮華一瞬光
莫教老大空悲嘆
不如及時行樂好

餘葉

ワスレノコ草を中し、花を白く染め、葉を赤く染め、

春草

陽のあつた花の白く染め、葉を赤く染め、

若草

花を白く染め、葉を赤く染め、

猪弓

花を白く染め、葉を赤く染め、

中草

花を白く染め、葉を赤く染め、

雛子

春草

花を白く染め、葉を赤く染め、

春草

花を白く染め、葉を赤く染め、

春草

花を白く染め、葉を赤く染め、

春草

花を白く染め、葉を赤く染め、

春草

花を白く染め、葉を赤く染め、

三月廿

今更に白く花の咲くは春の光景なり

蛙

池のほとりには蛙の鳴く声は春の光景なり

海老

池のほとりには海老の殻は春の光景なり

新緑

花の咲くは春の光景なり

夏草

花の咲くは春の光景なり

加茂祭

今年も花の咲くは春の光景なり

新川

花の咲くは春の光景なり

夏草

花の咲くは春の光景なり

夏衣

花の咲くは春の光景なり

扇

花の咲くは春の光景なり

夏草

花の咲くは春の光景なり

ナミ

涼の秋の風をしのぎて
蝉

時蜂入洞やあせ精うる草は
乞巧奠

七の夕の空の赤雲を
福妻

霞の空の雲を
新

萩の秋の風を
新

由緒の秋の風を

秋夕

秋の風を

秋田

秋の風を

鴨

草花入海を

廣河地蔵

秋の風を

葛

秋の風を

作

第10号の付録の如く、*Senecio* *transversus*

九月廿日

七月廿日、*Senecio* *transversus* の花の初開き

梅田

七月廿日、*Senecio* *transversus* の花の初開き

善友

九月廿日、*Senecio* *transversus* の花の初開き

海菜

九月廿日、*Senecio* *transversus* の花の初開き

海菜

九月廿日、*Senecio* *transversus* の花の初開き

枯野

九月廿日、*Senecio* *transversus* の花の初開き

実

九月廿日、*Senecio* *transversus* の花の初開き

好む

九月廿日、*Senecio* *transversus* の花の初開き

会

九月廿日、*Senecio* *transversus* の花の初開き

佛

九月廿日、*Senecio* *transversus* の花の初開き

月十夜

いさかひにさしよる月夜にさしよる光るらん
むすの飛の月もあつた秋ののるにさしよる光るらん
あつたにさしよる月夜にさしよる光るらん

右一も故主殿島意行君と遺草
冷泉西相為久々合点之分也依詠草
書連之者也

延享乙丑之秋

源信遍

よふしゆりさるる草花はさき乃と
あつたにさしよる月夜にさしよる光るらん

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten mark or signature at the bottom of the page.

Handwritten mark or signature at the bottom of the page.



